

2級学科試験問題

☐ が正解の選択肢

問題 6

遺族厚生年金に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 厚生年金保険の被保険者が死亡したことにより支給される遺族厚生年金の額は、死亡した者の厚生年金保険の被保険者期間が300月未満の場合、300月とみなして計算する。
2. 遺族厚生年金の額（中高齢寡婦加算額および経過的寡婦加算額を除く）は、原則として、死亡した者の厚生年金保険の被保険者記録を基に計算された老齢厚生年金の報酬比例部分の3分の2相当額である。
3. 厚生年金保険の被保険者である夫が死亡し、夫の死亡当時に子のいない40歳以上65歳未満の妻が遺族厚生年金の受給権を取得した場合、妻が65歳に達するまでの間、妻に支給される遺族厚生年金には中高齢寡婦加算額が加算される。
4. 配偶者が死亡したことにより遺族厚生年金の受給権を取得した65歳以上の受給権者について、その受給権者が受給することができる老齢厚生年金の額が当該遺族厚生年金の額を上回る場合、当該遺族厚生年金の全部が支給停止される。

TAC 2級テキスト

3 年金額 頻出！

遺族厚生年金の額は、老齢厚生年金の報酬比例部分を計算した額の4分の3に相当する額となります。なお、短期要件の場合、被保険者月数が300月未満のときには、300月として計算します。長期要件の場合は、実際の被保険者月数で計算します。

$$\text{遺族厚生年金の額} = (\text{①} + \text{②}) \times \frac{3}{4}$$

$$\text{①} \quad \begin{array}{l} \text{2003年3月} \\ \text{までの期間分} \end{array} = \begin{array}{l} \text{平均標準} \\ \text{報酬月額}^{\text{※1}} \end{array} \times \frac{\text{乗率}}{1,000} \times \begin{array}{l} \text{被保険者} \\ \text{期間の月数} \end{array}$$

$$\text{②} \quad \begin{array}{l} \text{2003年4月} \\ \text{以後の期間分} \end{array} = \begin{array}{l} \text{平均標準} \\ \text{報酬額}^{\text{※2}} \end{array} \times \frac{\text{乗率}}{1,000} \times \begin{array}{l} \text{被保険者} \\ \text{期間の月数} \end{array}$$

(※1) 2003年3月以前の被保険者期間における月収の平均額

(※2) 2003年4月以降の被保険者期間における賞与も含めた平均月収の額